

営業現場で使われている

プレゼン資料は全く相手に響いていない？

- ▶ 現在使っているプレゼン資料は、日本語資料をただ英訳しただけ？！
- ▶ 貴社の現地法人や海外向けホームページは、現地の人に理解されていない？！

□外国語に堪能な通訳や翻訳者が、海外でのプレゼン現場まで理解しているとは限りません

□日本と海外でのプレゼン方法の違い、必要とされる資料の種類など、経験に基づいた相手に「刺さる」情報発信が必要です



例えば、こんなご不安はありませんか？

- ▶ お客様に正しいメッセージが届いているのか、確認のすべがない
- ▶ 各種資料やウェブサイトの作成・翻訳は、別々の部署や業者が作業してきた
- ▶ 日本語資料での意図が、英語や中国語の資料に反映されているか、資料を一貫してチェックしていない

□ 別々の翻訳者が手がけた場合、資料ごとにバラバラの訳語が使われるだけで、事業の一貫性すら問われるリスクがあります



アルバ・パートナーズでは

以下のサポートをいたします

- ▶ プレゼン前に資料をレビューをします
 - ▶ 必要に応じて同席、通訳、交渉代行
- ▶ カタログ、パンフレット、ウェブサイトのチェック、リライト、デザインから制作までお受けします
 - ▶ 日系企業のウェブサイトの多言語対応、見直し、海外向け会社資料制作等、多数の実績あり

- 海外への情報発信に不安がありましたら、お気軽にアルバ・パートナーズへ
- 海外生活の長い女性中心のメンバーが、きめ細やかなサポートをいたします

